

豊川市子ども読書活動推進計画
【豊川市子ども読書活動推進実施計画】
令和元年度～令和5年度
(2019) (2023)



令和元年7月
(隨時更新)

豊川市教育委員会

中央図書館

はじめに

本市の子ども読書活動の推進は、平成28年3月に策定の「豊川市子ども読書活動推進大綱」（以下「大綱」という。）に基づき、「豊川市子ども活動推進実施計画」（以下「実施計画」という。）を随時更新しながら行っています。この実施計画では、大綱に掲げる3つの基本目標を達成するために、体系化された9つの施策を具体的に推進するための個別の取組を掲げています。

第一次計画では、個別の取組についてその内容や課題を掲げてはいましたが、それについてどの程度の活動を目指すのか、具体的に数値化しておらず、進捗状況を客観的に把握することが困難でした。

そこで、今回の実施計画では、それぞれの取組を「いつ」、「どのぐらい」行うのか、可能な限り明示した上で、その開始からの3年間を「集中取組期間」と位置付け、その期間終了後にその取組を評価し、「継続」「拡充」「縮小」「廃止」などの判断を行う仕組みとしています。

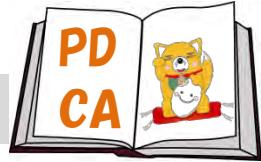
この冊子は、平成30年度の取り組み実績を踏まえ、令和元年度から令和5年度までの5年間を期間（以下「今期」という。）に、今後の取り組みをまとめたものです。



豊川市子ども読書活動推進計画

■ ■ ■ 子ども読書推進 実施計画 目 次 ■ ■ ■

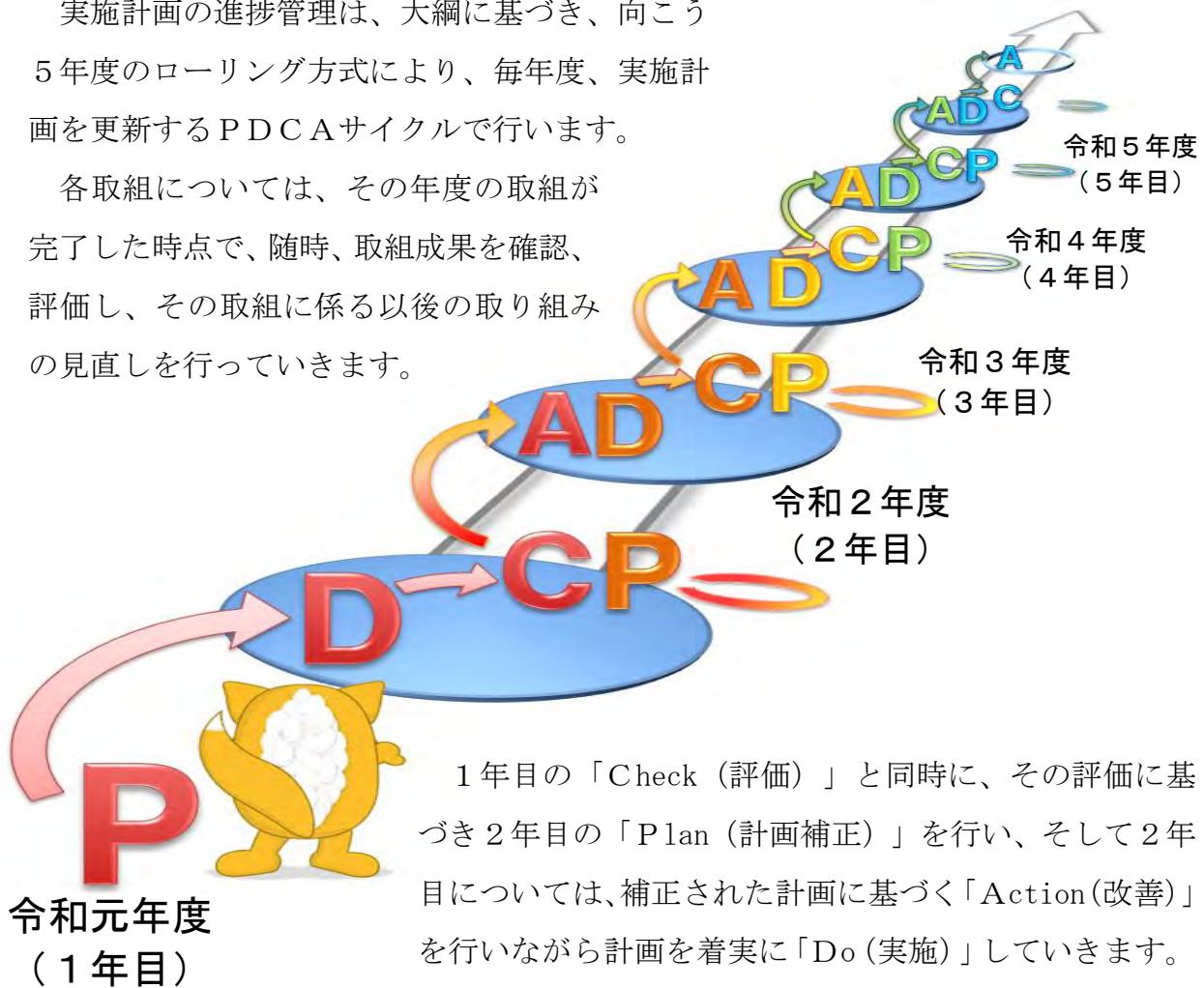
■ 1 進捗管理の仕方	・ ・ ・ ・ ・	2
■ 2 各取組の評価方法	・ ・ ・ ・ ・	2
■ 3 進捗状況報告書の作成	・ ・ ・ ・ ・	3
■ 4 実施計画の見直し（ローリング）	・ ・ ・ ・ ・	4
■ 5 実施計画の公表	・ ・ ・ ・ ・	4
■ 6 今期の重点取組	・ ・ ・ ・ ・	4
■ 7 実施計画進捗管理表（令和元年度～令和5年度）	・ ・ ・ ・ ・	5



■ 1 進捗管理の仕方

実施計画の進捗管理は、大綱に基づき、向こう5年度のローリング方式により、毎年度、実施計画を更新するP D C Aサイクルで行います。

各取組については、その年度の取組が完了した時点で、隨時、取組成果を確認、評価し、その取組に係る以後の取り組みの見直しを行っていきます。



■ 2 各取組の評価方法



各取組は、子ども読書活動の推進を達成することが目的ですが、何をもってその目的が達成されたと判断すべきか明確でないため、具体的に測定可能な「指標」を設定する必要があります。「指標」には、その取組によって得ようと期待する「効果」に関する指標と、その効果を得るために行動について掲げた「活動」指標があります。

本来は、「効果」の指標を毎年度測定し、取組の有効性を評価すべきですが、1つの取組の効果が現れるまでには、ある程度の長期に渡る取組が必要で、單一年度の取組だけで効果を測定することは困難です。

また、今回掲げた複数の取組は、それぞれ異なる効果を目指したものというわけではなく、ある1つの効果を上げるという共通した目的を持ったものがほとんどです。

そこで、「効果」の指標については、複数の取組について「共通指標」を設定した上で、5年に1度実施する「子ども読書活動に関するアンケート」などの結果から長期的な視点で判定することとし、各取組については、それぞれについて毎年度の「活動」の指標として定めた行動を、計画に定めたとおりに実施できているかどうかを、毎年度チェックし、計画どおりに進んでいないのであれば、その原因を分析した上で、次年度の計画を適切に修正していくこととします。次回の「子ども読書活動に関するアンケート」の実施は、平成32年度を予定しています。

■3 進捗状況報告書の作成



前述のとおり、各取組については年度の終了を待つことなく、その取組の結果が明らかになった時点で逐次、取組結果を集計、反省点や課題などの分析を行い、次回に向けての改善案の検討をし、当該取組の「取組名」や「内容」、「備考」などの記述を修正し、計画の見直しを行い、随時、計画を更新していきます。この更新を四半期ごとにとりまとめて進捗管理を行い、担当職員間での情報共有を図ります。

こうして、当該年度に行う予定だった全ての取組が完了した時点で、全体の進捗状況を総合的に評価した「進捗状況報告書」を作成します。平成30年度についての進捗状況の概要は下表のとおりで、詳細は別紙のとおりです。

【平成30年度 進捗状況報告書 概要】

H30 計画			H30 進捗状況						
内容	件数	実施対象計	取組結果	件数	達成件数	達成率	実施件数	実施率	
開始・実施・評価	21	43	◎(計画を10%以上上回る)	14	40	93%	43	100%	
継続・拡充・充実	21		○(ほぼ計画どおり実施)	26					
見直し・改善	1		△(計画を10%以上下回る)	3					
検討・調整 調査・周知	8		－(実施時期未到来)	8			※取組No.10「ティーンズ向け図書の人気作家を招いた講演会等の開催」の開始をH30からR3へ先送りしたが、取組No.43「地域の文庫活動の活発化」を前倒したため、実施率は100%となった。		
合計	51		合計	51					

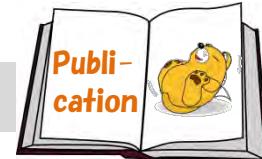


■ 4 実施計画の見直し（ローリング）

作成した「進捗状況報告書」に基づき、計画の前倒しや目標を現状に合わせて修正したり、状況によっては実施時期の繰り下げなどを行い、前述のとおり毎年度行う向こう 5 年度のローリングにおいて、実施計画そのものを横断的に見直し、今期の「豊川市子ども読書活動推進実施計画」としてまとめます。

平成 30 年度は、予算の都合や外部団体との調整が困難であることから、1 つの取組について実施時期を後年度に先送りしたが、1 つの取組について前倒しで実施することができたため、実施率は 100 %となりました。また、目標を 10 %以上下回った取組 3 件については、他部署や外部団体の都合によるものであるため、今後、当該団体等と今後の計画や目標について協議を行い、隨時、計画の見直し等を行います。

平成 30 年度までの実績を勘案して見直した今期の実施計画は、「7 実施計画進捗管理表」のとおりです。



■ 5 実施計画等の公表

見直し、作成した「豊川市子ども読書活動推進実施計画」と「進捗状況報告書」については、より多くの方に見ていただき、意見や要望を聞くことができるよう、市中央図書館のホームページに掲載するなどの方法により、公表し、隨時更新します。



■ 6 今期の重点取組

今期は、これまでの進捗状況等を勘案し、以下の 5 つの取組を、重点取組として位置づけます。

【取組 9】ティーンズコーナーの充実

【取組 29】「図書館まつり」の開催

【取組 34】中央図書館エントランス等での児童図書等の特別企画展示の開催

【取組 41】市の図書館に各学校の児童・生徒を貸切バスで招く図書館体験会を開催

【取組 42】特別支援学校等との連携

■7

豊川市子ども読書活動推進計画

実施計画 進捗管理表

(令和元年度～令和5年度)



進捗管理表の見方

【基本目標1】家庭、地域、学校等における取組の推進

- 施策1 家庭における取組の推進
- 施策2 地域(図書館を含む)における取組の推進
- 施策3 学校等(幼稚園・保育所を含む)における取組の推進

【基本目標2】普及啓発活動の推進

- 施策4 「子ども読書の日」を中心とした普及啓発の推進
- 施策5 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供
- 施策6 優れた取組の奨励、優良な図書普及

【基本目標3】子どもが読書に親しむ機会を提供できる連携・協力体制の整備

- 施策7 家庭、地域、学校等相互の連携・協力の推進
- 施策8 図書館間等の連携・協力の推進
- 施策9 子ども読書活動推進体制の整備

※大綱の「施策の体系」に基づき、
3つの基本目標と9つの施策に分類しています。

【基本目標1】家庭、地域、学校等における取組の推進

- 施策1 家庭における取組の推進

重点取組3

【目指す成果】		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	関係する課等
共通指標	効果	読み聞かせの頻度【図表27】 園児の「週に1回以上」(%)	目標 実績	H27(48.8%)から5%増					「うち読」、「ブックスタート」、「乳幼児健診時の普及・啓発」、「読み聞かせ教室事業」などにより実現します。
	効果	子と共に読書する頻度【図表27】 生徒児童の「週に1回以上」(%)	目標 実績	H27(12.2%)から5%増					

取組名

内容

1 学校の読書週間での「うち読」の周知
毎年5月の学校図書主任会に中央図書館司書が出席し、マイブックプロジェクトや団体貸出しの説明と同時にうち読の推進依頼も行い、学校の読書週間できっかけ作りをし、中央図書館のカードを活用するなどの連携を図ることで「うち読」実施家庭を増やす。

H29

H30

R1

R2

R3

R4

R5

前年

★

1年目

2年目

3年目

4年目

5年目

実施

実施

評価

継続

継続

継続

継続

指標

活動

目標

36

36

実績

36

36

「関係する課等」
黒丸「●」で始まる課名は、教育委員会所属
白丸「○」で始まる課名は、市長部局の所属

取組の進捗具合を判断するための「指標」は、計画的に実現すべき活動の量などを目安として定める「活動」指標と、その結果えらるはずの「効果」指標の2つに区別しています。また、実績を分析し、目標値等を修正や追加した場合には赤字で表示しています。

各年度の行動計画には、「調整」や「検討」、「実施」、「拡充」、「見直し」、「再検討」など、大まかなその年の活動目標が示してあり、その内容に応じたイメージのアイコンを表示しています。「いなりん」の表情の微妙な変化は、着実な進捗を願った気持ちです。

【基本目標1】家庭、地域、学校等における取組の推進

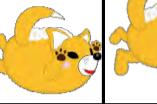
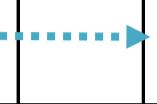
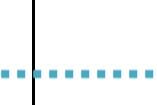
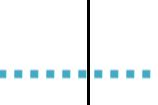
■施策1 家庭における取組の推進

重点取組3

【目指す成果】			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	アンケート実施による 次回効果測定は、 令和2年度を予定。
共通指標	効果	読み聞かせの頻度【図表27】園児の「週に1回以上」(%)	目標	53.8	—	—	—	—	—	
	効果	子と共に読書する頻度【図表27】生徒児童の「週に1回以上」(%)	目標	17.2	—	—	—	—	—	

取組名		内容		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	関係する課等	
1	学校の読書週間での「うち読」の周知	毎年5月の学校図書主任会に中央図書館司書が出席し、マイブックプロジェクトや団体貸出しの説明と同時にうち読の推進依頼も行い、学校の読書週間できっかけ作りをし、中央図書館のカードを活用するなどの連携を図ることで「うち読」実施家庭を増やす。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
		集中取組期間									備考	
		実施	活動	「うち読」周知の実施校数(校)	目標	36	36	36	36	36	5月の図書主任会にて全小中学校に推進依頼を行っています。「うち読」の推進について学年通信で紹介する学校もあります。	
2	「うち読」講演会の開催による普及・啓発	全国組織「家読推進プロジェクト」等から講師を派遣してもらい、「うち読」の効果的なやり方に関する講演会を開催し、「うち読」実施家庭を増やす。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
		集中取組期間									備考	
		開始	活動	「うち読」講演会開催回数(回)	目標	1	1	1			講師料等が必要な場合があるので、予算の確保などの調整も必要です。H30年度は、絵本作家こんのひとみさんによる講演会を開催しました。	
3	「うち読」ノートの改良、配布方法の見直し	取組開始から年数が経過し、当初ほど「うち読」ノートの配布や活用がされなくなってきたいるのを改善するため、ノートのデザインの見直し等の改良を行うとともに、中央図書館での配布方法の見直しを行い、「うち読」実施家庭を増やす。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
		集中取組期間									備考	
		検討	活動	「うち読」ノートのデザイン等見直し(回)	目標	—	1	1			うち読ノートの予算要求をしましたが、予算がつかなかったため、予算をかけずに、デザインの見直しをして手作りしたものを、常設のうち読コーナーの他、「うち読」に関する展示にて配布しました。	
4	4か月児健康診査の待ち時間を利用した「ブックスタート」事業の実施(継続)	健康診査の順番待ちの時間を利用して、ボランティアによる絵本の読み聞かせや家庭での読み聞かせへのアドバイスを行うとともに、「ブックスタートパック」(2冊の絵本から1冊を選択)を配布し、読書活動のきっかけづくりに役立てもらう。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子育て支援課 ○保健センター	
		集中取組期間									備考	
		継続	活動	実施回数(回)	目標	36	36	36	36	36	36	配布人数は、4か月児健康診査の受診状況によりますが、現状の子どもの数に合わせ、目標を1,650人から1,550人に変更しました。
5	乳幼児の保護者向け講座「絵本で子育て楽しんでみませんか」の開催(継続)	ブックスタートの次のステップとして、4か月から12か月までの乳幼児とその保護者を対象とした、絵本を使って子どもとのコミュニケーションを図るために講座を開催し、家庭での読書活動のきっかけづくりに役立てもらう。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
		集中取組期間									備考	
		継続	活動	実施回数(セット) ※1セットあたり3回構成の講座	目標	2	2	2	2	2	2	第一次計画以前から実施している継続事業です。対象が12か月までの乳幼児とその保護者に限定されているため、当面、現状の維持につとめます。 *H28年度報告数49組が110組の間違いだったため、30年度からの目標を100組に変更。
		講座への参加者数(組) ※乳幼児とその保護者の組参加		目標	50	100	100	100	100	100	100	
		実績	活動	98	94							

■施策2 地域(図書館を含む)における取組の推進

【目指す成果】		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	アンケート実施による次回効果測定は、令和2年度を予定。また、マンガ・ラノベコーナー(貸出不可)の閲覧の効果をどう評価するか要検討		
重点取組4 共通指標	効果	ティーンズ図書の年間貸出冊数 (冊)	目標 H26(11,835)	実績 から5%増	12,426						
重点取組1 共通指標	効果	読書好きな子どもの割合【図表1】 児童生徒の「好き」以上「(%)」	目標 H27(57.7%)	実績 から5%増	62.7						
取組名		内容		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
6 絵本にふれるきっかけとして、乳幼児健康診査の待合室などに絵本を設置		1歳6か月児と3歳児を対象に行われる乳幼児健康診査の待合室などに、中央図書館からの団体貸出扱いを利用して絵本コーナーを設置し、子どもと保護者が絵本にふれる機会を提供する。		★	1年目 	2年目 	3年目 	4年目 	5年目 	○保健センター ●中央図書館 備考 棚がいっぱいのため、H30年度は30冊提供。今後は古く傷んだ図書の整備なども検討する必要があります。11月から「図書館だより」を絵本コーナーに設置しました。	
7 2歳児歯科健康診査時の待ち時間に、ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」などを実施	指標 活動	設置した絵本の数(冊)		目標 35	拡充 40	評価 45	継続 50	継続 50	継続 50	継続 50	○子ども課 ○保健センター 備考 参加人数は、2歳児歯科健康診査の受診状況によりますが、現状の子供の数に合わせ、目標を1,500人から1,450人に変更しました。
		実施回数(回)		目標 36	36	36	36	36	36	36	○子ども課 ○保健センター 備考 この取り組みの活動指標の対象は「読み聞かせ教室」のみです。児童館での「読み聞かせ」については、基本目標3・施策7の取組番号37番の指標の対象として別掲しています。
8 公民館や児童館で「読み聞かせ教室」を開催	指標 活動	実施回数(回)		目標 1,500	1,500	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	○子育て支援課 備考 この取り組みの活動指標の対象は「読み聞かせ教室」のみです。児童館での「読み聞かせ」については、基本目標3・施策7の取組番号37番の指標の対象として別掲しています。
		参加人数(人)		目標 1,473	1,412						
		目標 実績		56	56	56	56	56	56	56	
9 ティーンズコーナーの充実	指標 活動	目標 開催回数(回)		56	56	53					●中央図書館 備考 「マンガ・ラノベコーナー」に新シリーズや、所蔵本の続巻を入れるなど蔵書の充実を図りました。新着本のPRなどの工夫もしています。
		目標 参加人数(人)		650	650	650	650	650	650	650	
		実績 目標 実績		584	674						
10 ティーンズ向け図書の人気作家を招いた講演会等の開催	指標 活動	目標 実績		7,600	7,600	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	●中央図書館 備考 書店を通じて招致を試みましたが、予算等を含め、調整が困難なため、当面の実施を見送りました。
		目標 実績		—	0						
		前年 ★		1年目 	2年目 	3年目 	4年目 	5年目 			
11 小学生から高校生までの総合学習や調べ学習に必要な資料の収集と提供	指標 活動	目標 実績		50	50	50	50	50	50	50	●中央図書館 ●学校教育課 備考 H29年度に引き続き、小学校で総合学習や調べ学習に使用する資料を見直し、購入したほか、児童用の郷土資料も積極的に収集しました。
		目標 実績		89	98						
		目標 実績		500	500	500	500	500	500	500	
12 児童向け点字図書や音声図書の充実	指標 活動	目標 実績		5	5	5	5	5	5	5	●中央図書館 ●学校教育課 備考 児童向けの点字図書やLLブック、音声図書の積極的な購入に努めました。電子書籍の音声図書は、販売状況や蔵書構成などによるため、目標を30冊から20冊へ変更しました。
		目標 実績		48	15						
		目標 実績		24	26	20	20	20	20	20	
		目標 実績		15	19						

1	2	取組名	内容	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	関係する課等
13		外国語図書の収集と排架	市内在住の外国語を日常語とする児童生徒や帰国児童・生徒のため、外国語の絵本や児童書の充実を図る。	前年 	★ 	1年目 継続	2年目 継続	3年目 継続	4年目 継続	5年目 継続	●中央図書館 備考 H30年度は英語の本を中心収集しました。
		指標	活動 外国語図書の受入冊数(冊)	目標 140	実績 156	140	140	140	140	140	140
		指標	活動 外国語図書の排架冊数(冊)	目標 7,800	実績 8,070	8,100	8,100	8,200	8,200	8,200	8,200
14		子どもの読書活動に関する講演会の実施	子どもの読書に関する保護者や図書館職員、学校関係者の理解を深め、子どもの読書活動の推進を図るとともに、子どもに対しては本を読む楽しさや意義を伝え、豊かな心を育んでもらう。	前年 	★ 	1年目 集中取組期間 調整	2年目 開始	3年目 実施	4年目 実施	5年目 評価	●中央図書館 備考 H30年度は、うち読の講演会と合わせて、絵本作家のこんのひとみさんによる講演会を開催しました。
		指標	活動 実施回数(回)	目標 —	実績 —	1	1	1	1	1	1
15		読み聞かせボランティア等養成講座の開催	読み聞かせボランティアの養成講座を開くとともに、その読み聞かせ技術を向上していただくためのスキルアップ講習会を開催し、読み聞かせボランティアの人材の充実を図る。	前年 	★ 	1年目 継続	2年目 継続	3年目 継続	4年目 継続	5年目 継続	●中央図書館 備考 新規の対象者向けの「養成講座」と、養成講座修了者向け「スキルアップ講座」を、1年置きに交互に開催(H30は養成講座)し、実績に合わせ各目標を設定していましたが、新規の申込者は年によって実績の増減があるため、目標を30人に統一しました。
		指標	活動 実施回数(回)	目標 1	実績 1	1	1	1	1	1	1
		指標	活動 参加人数(人)	目標 30	実績 30	46	30	30	30	30	30
16		子ども向け手作り絵本講座の開催	子どもが自ら絵本を手作りすることで、より絵本への関心や愛着を深めてもらうことを目的として、「手作り絵本講座」を開催する。	前年 	★ 	1年目 継続	2年目 継続	3年目 継続	4年目 継続	5年目 継続	●中央図書館 備考 12月の手作り絵本講座は小学生対象でしたが、より多くのお子さんが体験できるように、対象年齢を広げたことなどにより、昨年度より参加者を増やすことができました。
		指標	活動 実施回数(回)	目標 2	実績 2	2	2	2	2	2	2
		指標	活動 参加人数(人)	目標 55	実績 49	55	55	55	55	55	55
17		先進自治体図書館の視察や子ども読書に関する研修への参加による児童図書担当職員の育成	過去に子ども読書活動について文部科学大臣の表彰を受けた図書館や特色ある子ども読書活動を行う先進自治体図書館を視察したり、愛知県図書館などが主催する子ども読書に関する研修会へ積極的に参加し、児童書担当職員のスキルアップを図る。	前年 	★ 	1年目 継続	2年目 継続	3年目 継続	4年目 継続	5年目 継続	●中央図書館 備考 児童書担当職員としては司書が1名のみで、研修などによる育成の対象となる若い司書職員が近年配置されていないことから、同一の司書が毎年類似した研修などを受けているため、後進の育成が課題です。
		指標	活動 先進自治体図書館の視察(回)	目標 1	実績 3	1	1	1	1	1	1
		指標	活動 子ども読書に関する研修会参加回数(回)	目標 2	実績 2	2	2	2	2	2	2
18		「学校の日」の代休の休校日の月曜日に市の図書館を児童・生徒向けに開放	「学校の日」は土曜日に行われるため、翌週月曜日が代わりに休みとなり、子どもたちが長時間図書館を利用できる絶好の機会であることから、図書館を児童・生徒向けに開放する。(全市共通の「学校の日」は、5月と1月の各第3土曜日)	前年 	★ 	1年目 検討	2年目 検討	3年目 調整	4年目 開始	5年目 実施	●中央図書館 ●学校教育課 備考 H27から開館日を増やしたばかりで、さらなる開館日の増加は直ぐには困難なため長期的な視野で検討します。
		指標	活動 実施回数(回)	目標 —	実績 —				1	1	1
19		「ブックトーク」の実施	子どもたちに本や読書の楽しさを知ってもらうために、あるテーマにそって何冊かのさまざまなジャンルの本を順序だてて紹介する「ブックトーク」を開催する。(希望を募り、子どもたち自身による「ブックトーク」を開催することも検討する。)	前年 	★ 	1年目 検討	2年目 検討	3年目 調整	4年目 開始	5年目 実施	●中央図書館 ●学校教育課 備考 ボランティアによるブックトークを、H30の春の図書館まつりで1テーマ、秋の図書館まつりで2テーマで開催。引き続き職員による開催を目指します。
		指標	活動 実施回数(回)	目標 (3)※	実績 (3)※				1	1	1
20		図書館ボランティアによる「おはなし会」の実施	絵本で子育てを楽しんでもらえるよう、図書館ボランティアによる定例の「絵本の読み聞かせ」や「紙芝居」、「エプロンシアター」などの各種講座のほか、読書週間や図書館まつりなど様々な機会に「おはなし会」を開催する。	前年 	★ 	1年目 継続	2年目 継続	3年目 継続	4年目 継続	5年目 継続	●中央図書館 備考 非常に好評で、取組団体、参加人数ともに非常に多く盛況なイベントですが、会場のキャパシティやボランティア団体の都合等もあるため、当面は実績を勘案した現状維持を目標とします。
		指標	活動 合計実施回数(回)	目標 200	実績 229	200	200	200	200	200	200
		指標	活動 合計参加人数(人)	目標 5,200	実績 5,485	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200

■施策3 学校等(幼稚園・保育所を含む)における取組の推進

【目指す成果】			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	※「不読率」とは、アンケートで「ほとんど本を読まない」と回答した児童・生徒又は保護者から見たあまり本を読んでいない園児の割合をいいます。			
共通指標 重点取組2	効果	不読率の減少【図表2】 小学4~6年(%)	目標 実績			4.7	-	-	-				
	効果	不読率の減少【図表2】 中学生(%)	目標 実績			17.4	-	-	-				
	効果	不読率の減少【図表2】 高校生(%)	目標 実績			43.3	-	-	-				
	効果	不読率の減少【図表25】 保護者から見た園児(%)	目標 実績			24.4	-	-	-				
	効果	不読率の減少【図表25】 保護者から見た小学4~6年(%)	目標 実績			40.3	-	-	-				
	指標	活動	生徒参加率(%)	目標 実績									
取組名			内容		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	関係する課等	
21	マイブックプロジェクトの実施			中学2年生に、中央図書館が提供する一定金額分の図書購入券を配布し、子どもも自らが書店で本を選び、購入し、読み終えたら読んだ本の紹介メッセージを付けて学級文庫に入れ、級友や他のクラスの生徒とも読み合うことで、子どもが積極的に本と触れ合えるようにする。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
	指標	活動	生徒参加率(%)	目標 実績	96.0 95.0	97.0 95.7	97.0	98.0	98.0	98.0	98.0	備考 当初は実施後3年で廃止を含めた見直しを行うものとされていたが、継続を望む声が強いため、今後も継続していきます。	
22	朝読の推進			朝、授業が始まる前の時間を利用して、子どもたちが読みたい本を読める場を設けることで、子どもたちに読書をする習慣を身に着けてもらうことを目的として、朝読(朝の読書活動推進運動)を実施する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
	指標	活動	朝読実施校数(校)	目標 実績	36 36	36 36	36	36	36	36	36	備考 基礎学力向上のためには、朝の時間をドリル学習に利用する学校もあるため、どのように朝読を推進するかの継続的な検討が必要です。	
23	保育園へ、子ども用の図書や紙芝居等を貸し出す「おやこ文庫」の実施			図書や紙芝居などが常に子どもの身近にある環境をつくるため、保育園等へ「おやこ文庫」を貸し出し、子どもたちの読書への関心を高める。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○子ども課
	指標	活動	保育園等へのPR回数(回)	目標 実績	2 2	2 2	2	2	2	2	2	備考 その年の園の事情によって希望しない場合があるため、年度により参加園は異なりますが、引き続きPRをして参加を促します。	
24	学校図書館の利用を高めるための協議の場の設置			子ども読書に関するアンケートを実施した結果、子どもたちの声として「学校図書館の利用時間が十分でない」との意見が目立ったため、その声に対応するための協議の場を設け、延長の可否を検討する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
	指標	活動	協議会の開催回数(回)	目標 実績	1 1	1 1	1	1	1	1	1	備考 学校現場の事情もあり、容易には延長等ができないため、関係機関で十分に協議を行います。	
25	小中学校全校の「学校図書館図書標準」充足率100%以上を実現			小中学校の各学校図書館の適正な蔵書数の基準として、文部科学省の定めた「学校図書館図書標準」に沿って、その充足率が100%を超えるように整備を行う。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
	指標	活動	充足率100%以上の学校の割合(%)	目標 実績	40 *未調査	50 *未調査	60	70	80	80	80	備考 除籍対象の古書を廃棄しなければ充足率は高められるますが、子どもたちが使いやすい学校図書館とするため、除籍を適正に行なうことで、図書の充実を図る必要があります。 *年により調査時期が異なり、H29・30年度は調査を実施していません。	
26	小・中・高の各学校の課外授業やカリキュラムの一つとして、市の図書館の見学会を実施			小学生から高校生までを対象に、図書や読書への関心を高めてもらうことを目的とした、図書館見学会を実施する。(中央図書館や各分館の徒歩圏内の学校の一部で既に実施中)		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
	指標	活動	実施校数(校)	目標 実績	5 4	5 4	5	10	10	10	10	備考 No.41の図書館体験会(H30年度より実施)も含みます。	
	指標	活動	参加人数(人)	目標 実績	130 40	140 136	150	200	200	200	200		

【基本目標2】 普及啓発活動の推進												
■施策4 「子ども読書の日」を中心とした普及啓発の推進												
【目指す成果】			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5			
共通指標	効果	市の図書館来館者数(人)	目標	583,500	589,000	594,500	600,000	600,000	600,000			
	実績	660,487	678,341									
効果	市の図書館児童利用者数(人)	目標	94,000	96,000	98,000	100,000	100,000	100,000	100,000			
	実績	94,575	94,205									
取組名		内容		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	関係する課等	
27	図書館検定の実施		子どもたちに図書館や読書への興味や関心を抱いてもらい、図書館への来館のきっかけとなるよう、図書館でのマナーや図書に関する知識を設問とした「図書館検定」を実施する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考
	指標	活動	参加者数(人)	目標	620	700	900	900	900	900	900	昨年を大きく上回ったため、R1年度以降の目標を見直しました。
28	読書週間等の行事の充実を図るため「まんが、ライトノベル、アニメデー」を開催		4月23日の子ども読書の日を中心とした春の読書週間や10月27日の文字・活字文化の日を中心とした秋の読書週間に、子ども参加型のイベントとして、まんがやライトノベル、アニメに関するイベントを開催する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考
	指標	活動	開催回数(回)	目標		開始	実施	実施	評価	継続	継続	H30年秋の読書週間に、アニメに関するイベントを開催しました。R1年度も実施に向けて準備をすすめています。
29	「図書館まつり」の開催		これまで読書週間などを中心として複数の日に分散して行っていた各種関連イベントを、「図書館まつり」として特定の日又は期間に集約して、様々なイベントを同時に楽しむことができるようになり、相乗効果で読書への関心を高める。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考
	指標	活動	開催回数(回)	目標	2	2	2	2	2	2	2	春と秋の2回の図書館まつりを実施しました。H30年度はシールラリーを開催し、より図書館まつりを楽しめるように工夫しました。
30	市図書館のホームページに子ども読書活動の関連事業や実施計画の取組状況などを掲載する専用ページを設置		「読み聞かせボランティア講座」の開催情報や、この実施計画に掲載の各種取組とその進捗情報、おすすめ図書、各種ボランティアの活動状況など、子ども読書活動に関連する情報を集約し、保護者等へ提供する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考
	指標	活動	掲載コンテンツ数(件)	目標	10	12	12	12	12	12	12	引き続き、ホームページ全体を、より子ども向けのデザインに改良しました。
31	子ども読書関連活動を行うボランティアの情報を収集し、生涯学習情報システム「学びネットあいち」へ情報提供		読み聞かせボランティアや図書館登録団体などの要望の有無をリサーチした上で、ボランティアや団体が主催する講座や催しなどの情報の周知について、「学びネットあいち」への情報提供(掲載依頼)を代行する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考
	指標	活動	情報提供件数(件)	目標		調整	調整	調整	調整	開始	実施	実施
32	市生涯学習情報サイト「まなびネットとよかわ」に中央図書館や分館での関連ボランティアや団体の情報を掲載		生涯学習課が管理する「まなびネットとよかわ」に、中央図書館や分館で開催される読み聞かせ事業やボランティア養成講座、図書館登録団体の活動情報なども掲載してもらうように、生涯学習課と調整する。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●生涯学習課 備考
	指標	活動	情報提供件数(件)	目標		検討	検討	調整	調整	開始	実施	実施
33	外国人の保護者への市の図書館のPR		学校へ通っている子どもは日本語を話せる子がほとんどだが、その保護者は母国語しか話せないケースが多い。子どもと図書館へ来館する機会を増やすため、子ども連れの外国人利用者を増やすことを目的として外国語の本の所蔵をPRする。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○市民協働国際課 備考
	指標	活動	外国人保護者へのPR回数(回)	目標			1	1	1	1	1	1

■施策6 優れた取組の奨励、優良な図書の普及

【目指す成果】			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	企画展示などで紹介した図書が、実際に子どもたちに借りられることを目指して指標を設定します。
共通指標	効果	市の図書館児童利用者数(人)	目標 94,000	96,000	98,000	100,000	100,000	100,000	100,000	
	効果	市の図書館児童図書貸出数(冊)	目標 398,500	399,000	399,500	400,000	400,000	400,000	400,000	

取組名		内容		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	関係する課等
34	中央図書館エントランス等での児童図書等の特別企画展示の開催	子どもたちが読書に興味を持つきっかけづくりに、日本絵本賞をはじめとする、前年度の児童図書に関する各種受賞作品や、市民団体の手作り絵本、子どもたちの興味をひく仕掛け絵本などを展示する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	備考 H30年度は、御津分館で多くの児童展示が開催されたため、展示開催回数が増えました。
											
35	長年活躍されている読み聞かせボランティアや子ども読書に関連した優れた活動団体の表彰等の奨励	子ども読書活動の推進に貢献しているボランティアや団体の活動を奨励するため、文部科学大臣表彰の対象として推薦したり、市図書館独自の表彰を行なうなどし、さらなる子ども読書活動の推進を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	備考 H30は2組のボランティア団体が受賞しました。
											
36	児童・生徒に優良な本に関する情報を提供するため、各年齢層別の「おすすめの本紹介リーフレット」等を作成、配布	市の図書館司書や保護者、大学生などが児童・生徒にすすめる本や、高校生から小・中学生、児童・生徒同士が互いにすすめ合う本などをリーフレットや冊子にまとめ、市の図書館などで配布する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	備考 現在、「うち読のおすすめ本」や「子どもの日読書展」などで期間を区切ったリーフレットの配布を実施していますが、本取組の対象は通年での実施です。
											
	指標 活動	おすすめ本リーフレット発行数(回)	目標		1	1	1				
			実績	—	2						

【基本目標3】子どもが読書に親しむ機会を提供できる連携・協力体制の整備

■施策7 家庭、地域、学校等相互の連携・協力の推進

取組名	内容	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	関係する課等
		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○子ども課
37 児童館・児童クラブ・公民館・市民館等への団体貸出・読み聞かせの実施	子どもの身近な場所における読書環境を整備するため、学校以外の子どもが多く集まる施設に図書の貸出を行い、出来るだけ市内の多くの場所で読書ができるようにする。								●中央図書館 ○子ども課
		継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	備考 ※過去の実績把握及び目標値の設定が誤っていたので、H29以降の目標値を実績値を元に再設定(当面は現状維持)。
38 図書館等利用案内の作成・配布	子ども向けの図書館利用案内を作成し、新着本や推薦図書の紹介、イベントの開催などの情報を保育園や学校へ配布とともに、市図書館ホームページに掲載する。		★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考
		改善	見直し	改善	見直し	改善	見直し	改善	毎月1回の発行のほか夏休み直前の特別号を1回、春と秋の図書館まつりの案内を各2回、合計15回発行しました。
39 中学校・高校・教職員・企業の社員等の職場体験学習(実習)の実施	図書館司書の業務と、公共図書館運営への理解と関心をもってもらうために、中学生、高校生、教職員又は企業の社員を対象とした体験学習の受け入れを実施する。		★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考
		継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	生徒だけでなく、学校の教職員や企業などの社員からも職場体験研修の希望があれば受け入れています。H30の実績値には、教職員の研修を3名含みます。
40 学校と市図書館双方の図書ボランティア及び読み聞かせボランティアの交流、連携	各学校と中央図書館等の図書ボランティアや読み聞かせボランティアの交流や連携を行い、ノウハウの共有や相互のスキルアップを図る。		★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考
		調整	開始	実施	実施	評価	継続	継続	H30年度は、学校図書ボランティア宛てに、図書館で開催されるブックトークなどに参加して交流を図ってもらえるような案内を通知しました。
41 市の図書館に各学校の児童・生徒を貸切バス等で招き、本の借り方などを学べる図書館体験会を開催	中央図書館や各分館の近くの学校では、徒歩による図書館見学会を行っているが、遠くの学校にも、プラネタリウム見学などと合わせ市の図書館が貸切バスを用意して児童・生徒を招くとともに、見学だけでなく本の探し方や借り方を学べる図書館体験会を開催する。		★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考
		調整	開始	実施	実施	評価	継続	継続	小学4年生のプラネタリウム見学の機会を利用し、図書館活用方法などを学ぶ図書館体験会を実施しました。
42 特別支援学校等との連携	障害のある子どもを含む全ての子どもが、読書に親しみ、読書好きになるためのきっかけづくりとして、市内外の特別支援学校等と連携を図り、できるだけ多くの子どもたちに図書館サービスを体験してもらう。		★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考
		実施	実施	評価	継続	継続	継続	継続	参加人数は、その年の生徒の状況や、学校の都合によるため、H30年度は目標を下回りました。
43 地域の文庫活動の活発化	子どもたちの周りに常に本がある環境をつくるため、市内の地域文庫活動を掘り起し、市図書館ホームページなどで周知を図り、地域文庫活動を活発にする。		★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考
		検討	開始	実施	実施	評価	継続	継続	H30年度は、おはなしのへやに「本の広場」について掲示して紹介したほか、団体貸出を行い地域文庫の図書の充実を図りました。
指標	活動	連携実施校数(校)	目標	1	1	1	1	1	
	活動	参加児童・生徒数(人)	目標	25	25	25	25	25	
指標	活動	地域文庫紹介件数(件)	目標	(1)※	1				
	指標	活動	実績						

■施策8 図書館間等の連携・協力の推進

	取組名	内容	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	関係する課等
44	学校図書館のネットワーク化に向けて、関係課の協議の場を設ける	学校図書館の図書について、ネットワーク化を図ることで、自校の学校図書館だけでなく、他校や市の図書館まで含めた地域全体の蔵書を対象とした検索や、図書の共同利用を可能とするための協議の場を設ける(市の図書館については、以前からインターネット上で誰でも検索可能。)。	前年 ★	1年目 集中取組期間	2年目	3年目	4年目	5年目		●中央図書館 ●庶務課 ●学校教育課 備考 引き続き関係課との協議を実施します。
			開始	実施	実施	評価				
	指標 活動	ネットワーク化検討協議の開催回数(回)	目標 1	1	1					
			実績 1	1						
45	市の図書館司書と司書教諭、巡回司書との連携、情報交換	学校巡回司書ミーティングや図書主任会などの場を利用して、中央図書館の司書と学校の司書教諭、巡回司書が、子どもの読書活動の推進に関する情報交換や新着本、推薦図書などの情報提供などを行う。	前年 ★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		●中央図書館 ●学校教育課 備考 市の司書教諭や巡回司書との情報交換を随時実施。市内高等学校の司書とも情報交換の場を持ち、連携を図っています。
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	指標 活動	情報交換等実施回数(回)	目標 2	2	2	2	2	2	2	
			実績 2	4						
46	学校図書館における図書委員育成のための取組を協議する場の設置	学校図書館の活用方法を、子どもたち自身が提案し、授業や調べ物に積極的に活用できるようにするために、その提案を中心にして行う図書委員の育成を図るために、関係する機関での協議の場を設ける。	前年 ★	1年目 集中取組期間	2年目	3年目	4年目	5年目		●中央図書館 ●学校教育課 備考 学校教育課の担当者と協議し、図書委員育成を図るための取組について検討しました。
			実施	実施	実施	評価				
	指標 活動	協議会の開催回数(回)	目標 1	1	1					
			実績 1	1						
47	学校司書、司書教諭、巡回司書の適正配置計画の策定のための協議の場の設置	学校図書館の運営の改善及び向上を図り、利用の一層の促進に資するため、専任の学校司書を置くことを定めたH26改正の学校図書館法第6条に基づき、計画的に適正な配置を行ふため、学校教育課と中央図書館との協議の場を設ける。	前年 ★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		●中央図書館 ●学校教育課 備考 H30年度学校図書館巡回司書10名、勤務時間は6時間
			実施	実施	評価					
	指標 活動	学校司書等の適正配置計画策定協議開催数(回)	目標 1	1						
			実績 1	1						
48	中央図書館から学校への団体貸出のセット内容を見直す協議の場の設置	第一次計画に基づき継続中の、中央図書館から各学校への団体貸出用の図書セットについて、教科書の更新等に伴う内容変更に対応するため、中央図書館司書と学校の主任会との協議の場を設ける。	前年 ★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		●中央図書館 ●学校教育課 備考 5月に協議を行った他、6月に学校巡回司書とも意見交換を行い、貸出セットの内容を見直し、セットの追加もしました。また、セット内容の要望などのアンケートを実施しました。
			実施	実施	評価					
	指標 活動	団体セット内容見直し協議の開催回数(回)	目標 1	1						
			実績 2	2						
49	「読書週間」等について、中央図書館のイベント情報や各学校での取り組みなどを相互に紹介し合う啓発活動を実施	現在は、それぞれ単独で実施している読書週間のイベントや取組について、互いに情報交換をすることで、読書啓発の効果をより高める。	前年 ★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		●中央図書館 ●学校教育課 備考 学校教育課の担当者と協議し、教員の負担が増えない形での実施を検討中です。
			調整	調整	開始	実施	実施	評価		
	指標 活動	学校での中央図書館イベント紹介(回)	目標 —	—		1	1	1		
			実績 —	—						
	指標 活動	中央図書館での学校取組紹介数(校)	目標 —	—		1	2	4		
			実績 —	—						

■施策9 子ども読書活動推進体制の整備

取組名	内容	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	関係する課等
		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
50 子ども読書に関するアンケートの実施	実施計画の取組の効果等を測定するため、当面の間、5年に1回の頻度で、市内の小・中学校及び高校から数校ずつを選び「子ども読書活動に関するアンケート」を実施するとともに、保育園児や小学生の保護者についても同様のアンケートを行う。								備考 アンケートは5年おきに実施します。内容や頻度、対象者などについては、今後、進捗管理に合わせて見直しを行います。
	指標 活動 アンケート実施回数(回)	目標							
		実績	—	—		1			
51 実施計画の進捗管理	向こう5年度のローリング方式により、この実施計画に掲載の各取組について、毎年、前年度の進捗状況を評価するとともに、必要に応じて計画を見直し、各取組の実効性を高める。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
	資料 活動 進捗管理の実施回数(回)	目標	4	4	4	4	4	4	備考
		実績	4	4					取組の実施に合わせて随時進捗管理をしていますが、H30年度も四半期ごとに進捗状況を取りまとめ、図書館職員内での情報の共有化を図りました。